

岩田先生の特別授業

3月11日5時間目、5・6年生対象に藤田医科大学病院副院長の岩田充永先生による特別授業を実施しました。授業の内容は新型コロナウイルス感染症についてです。とても勉強になる話でしたので、保護者の皆様とも共有したいと思います。



質問1：「新型コロナは恐ろしいですか。その理由は何ですか」
恐ろしいと答えた児童は「東京では2000人以上の感染者が出て怖いと思います。」など

恐ろしくないと答えた児童は「ちゃんと感染予防の対策をすれば怖

くないです。」など

質問2：「新型コロナウイルスに感染した人と会うのは恐ろしいですか。」

恐ろしいと答えた児童は「うつってしまうかもしれないから怖いです。」など

恐ろしくないと答えた児童は「感染予防をしていれば怖くないです。」など

岩田先生：「怖いと答えた人も怖くないと答えた人もどちらも正解です。大切なことは『恐怖心・パニックは無知から発生する』のです。だからしっかりと勉強しましょう。」というやり取りの後、N95マスクを3人の先生に付けてもらい紹介していただきました。

新型コロナウイルスの感染は飛沫感染と接触感染があること。ハムスターの実験からマスクをつけないと66.7%感染してしまうが、感染していないハムスターにマスクを着用させると感染率は33.3%に、感染したハムスターにマスクを付けると感染率は16.7%に減少するという結果から飛沫感染を予防するにはマスクの着用が大切であると教えていただきました。また、感染した場合でも、マスクを付けていた場合、症状がひどくなくなりやすいというデータがあることには驚きました。接触感染対策ではやはり手洗いが大切。ウイルスは石鹸やアルコールで簡単に壊れるとのことでした。これは変異株でも同じだそうです。

岡崎医療センターでプリンセス号のコロナ患者さんを診療した経験談。医療センターの前の岡崎小学校の子どもたちが「コロナ小学校」と誹謗を受けたこと。そしてその小学校の子どもたちから、感謝と励ましのメッセージが届き、患者さん達だけでなく、働くスタッフたちの支えになったことなどを紹介していただきました。

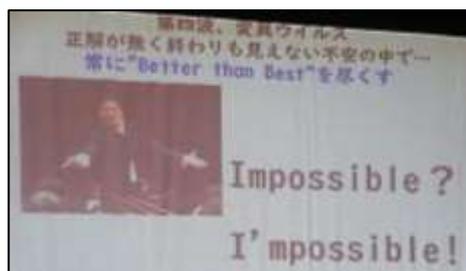
先生たちには、「Better than Best を尽くすこと。

Impossible? (できないぞ) も「'」を入れるだけで

I'm possible (できる) になると、示唆をいただきました。



「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を暖める」という言葉で授業が締めくくられました。最後にもう一度「新型コロナウイルスは恐ろしいですか？」という質問には多くの子どもたちが「恐ろしくない（ちゃんと対策をすれば）」と答えていました。



1時間N95マスクを付けていた先生方は、「話したり動いたりすると結構苦しい」という感想でした。コロナ病棟で働く看護師さんは、これを一日中付けていらっしゃるのですね。本当に頭が下がります。

子どもたちからは、「旧型コロナというものもあるのですか」などの質問が多数出ました。時間がなくなったので、後日質問を送付して答えていただくことにしました。

新型コロナウイルス最前線で戦っていらっしゃる先生のお話は、全てに説得力があり、子どもたちも真剣に聞いていました。メモを取っている子も多く、家に帰って家族に話したいといっていました。とても有意義な時間となりました。

追伸

この日は3.11東日本大震災11年目を迎えた日でした。岩田先生は、東日本大震災の時も被災地で救命救急の仕事をしていらっしゃいました。その時の話もパワーポイントに入っていたのですが、時間がなく割愛されました。打ち合わせの際そのことを知っていたので、もう少し時間があればと残念でした。またいつか、岩田先生をお招きしてその時の話を子どもたちにも聞かせたいと考えています。

特別授業の間にも、何度か岩田先生の携帯電話に、病院からだと思うのですが、連絡が入っていました。本当にお忙しい中ありがとうございました。岩田先生は、よく夕方のニュース番組に出演されています。注意してみてください。

岩田先生の特別授業（その2）

3月11日5時間目、5・6年生対象に藤田医科大学病院副院長の岩田充永先生による特別授業を実施しました。授業の最後に質問がたくさん出て時間が無くなりましたので、後日質問を岩田先生に送りましたら早速返事を頂けましたので紹介します。

Q:「新型コロナウイルスの大きさは何mmですか？」

A:「0.1マイクロメートル（スギ花粉の300分の1）です。」

Q:「コロナによって起こる症状、ワクチンの副作用にはどんなものがあるのですか？」

A:「ワクチンの副作用には、1～2日の痛み、倦怠感（だるいという症状）、軽度の熱です。」

Q:「ワクチンの効果はどのぐらいあるのですか？」

A:「これまでの研究では3～6カ月は確実に効果があるといわれています。」

Q:「コロナのワクチンは安全なんですか？」

A:「これまでの研究ではかなり安全と報告されています。」

Q:「子どもはコロナにかかりにくいのですか？」

A:「これまではそう言われていましたが、変異ウイルスは子どもも感染するようになりました。」

Q:「小学生がワクチンを接種できるのはいつですか？」

A:「海外で研究が始まっています。効果が確認できれば来年ぐらいかな…」

Q:「コロナの最も恐ろしいところは何ですか？」

A:「ウイルスそのものよりも、考え方が違う人が分断されてしまうことが恐ろしいです。」

Q:「コロナウイルスのワクチンは絶対に打たないといけないのですか？」

A:「ぼくは多くの人が接種してほしいと考えていますが、違う考えの人もいます。」

Q:「いろいろなイベントはいつ開催できますか？」

A:「難しい…」

Q:「医療従事者の休みはありますか？」

A:「時々あります。」

Q:「二重マスクは意味ありますか？」

A:「正しく着用できていれば1枚でよいです。」

Q:「ワクチンを打つと100%コロナにかからないのですか？」

A:「100%予防はできませんが、重症化は防げます。」

Q:「コロナはいつなくなりますか？」

A:「難しい…」

以上が岩田先生からの返信です。先生大変お忙しい中、返信を下さりありがとうございます。

心に響いたのは、「コロナの一番の怖さは、違う考え方の人同士が分断されていくこと。」だという岩田先生の答えです。本当にそう思います。先日のアメリカ大統領選でも分断が起きました。人々がいがみ合い、暴力が起きる様子がテレビでも流れていました。いとも簡単に人々はあんなになってしまうのだなと思いました。そして、日本でもコロナによる差別や偏見が報道されています。大人が落ち着いた判断に基づく行動をしないとイケません。

今回の特別授業は子どもたちにも大きな学びになりました。来年度も、岩田先生の時間が許されるのならば、特別授業第2弾を実施したいと思います。